

# 転職に伴う名古屋圏から東京圏への転出実態に関する研究

名古屋都市センター 調査課 前田 翼

## 1 はじめに

### 1-1 研究の背景と目的

近年、主要都市から東京圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）への人口の転出超過が拡大している。国勢調査における移動人口<sup>1)</sup>をみると、主要都市から東京圏への転出超過は継続しており、愛知県や名古屋市においても同様の傾向がみられる（表1, 2）。名古屋市から東京圏への転出超過量の推移をみると、特に25～39歳という生産年齢人口の中核を担う年齢層における転出超過量の増加が顕著であり、この年齢層の移動には転職を契機とするケースが多いと推測される（表3）。

表1 主な都道府県から東京圏への転出超過量

	① H22→H27	② H27→R2	増加量 (②-①)
北海道	6,929	9,117	2,188
宮城県	6,631	12,677	6,046
愛知県	7,346	23,649	16,303
京都府	4,552	10,735	6,183
大阪府	22,650	33,515	10,865
兵庫県	13,651	21,291	7,640
広島県	2,869	7,294	4,425
福岡県	3,391	13,118	9,727

表3 名古屋市から東京圏への転出超過量

	① H22→H27	② H27→R2	増加量 (②-①)
総数	2,725	10,378	7,653
0～4歳	108	363	255
5～9歳	311	833	522
10～14歳	668	879	211
15～19歳	1,338	1,313	-25
20～24歳	1,494	2,135	641
25～29歳	-822	804	1,626
30～34歳	-273	1,571	1,844
35～39歳	-117	1,145	1,262
40～44歳	31	656	625
45～49歳	2	489	487
50～54歳	-41	-17	24
55～59歳	-255	-94	161
60～64歳	-66	-18	48
65～69歳	-30	-26	4
70～74歳	60	48	-12
75～79歳	78	58	-20
80～84歳	112	73	-39
85歳以上	125	166	41

表2 主な都市から東京圏への転出超過量

	① H22→H27	② H27→R2	増加量 (②-①)
札幌市	5,147	6,300	1,153
仙台市	4,502	9,084	4,582
名古屋市	2,725	10,378	7,653
京都市	2,983	7,693	4,710
大阪市	6,496	9,195	2,699
神戸市	3,599	7,604	4,005
広島市	1,585	4,037	2,452
福岡市	1,087	5,446	4,359

全国における転職者数の推移<sup>2)</sup>をみると、2019年の約353万人／年をピークにコロナ禍において減少傾向となっていたが、2021年より再度増加傾向に転じた（図1）。2024年の約331万人／年を年齢層別にみると、特に25～34歳の年齢層の転職者数が最も多いことから、就職直後ではなく中核の職務を担うタイミングで転職を行う方が多いと想定される（表4）。また、この転職には、東京圏への人口転出にあるような転居を伴う転職の

ケースが一定程度あると推察される。

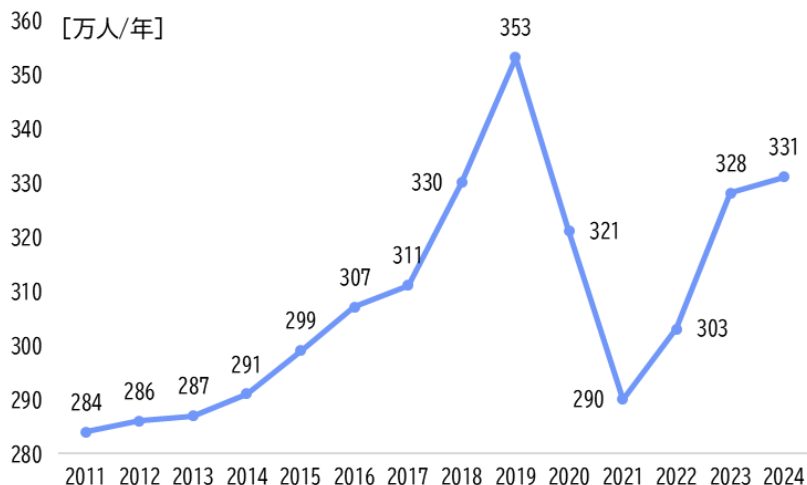


表4 年齢層別転職者数

総数	331万人/年
15～24歳	61万人/年
25～34歳	76万人/年
35～44歳	61万人/年
45～54歳	58万人/年
55～64歳	49万人/年
65歳以上	25万人/年

図1 転職者数の推移 (全国)

東京一極集中の問題は、少子化・地方衰退と並んで日本の長期的な政策課題として長年取り上げられてきた。政府は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をはじめとする各種地方創生施策を推進してきたが、中核人材の東京圏への流出は依然として続いており、歯止めが効いていない。

また、25～39歳という中核を担う人材が東京圏へ流出し続けており、名古屋圏における人材確保においても大きな問題となる可能性がある。

名古屋圏は、自動車産業を中心とした製造業の集積地として、国内有数の産業・経済力を有している。しかしながら、特定の大企業・製造業を中心とした産業構造が、多様なキャリアパスやスキルアップの機会を求める若年労働者のニーズに必ずしも応えられていない可能性がある。この点が、東京圏との間に生じる人材移動の背景にある構造的要因の一つとして考えられる。

以上を踏まえ、本研究は、転職に着目し、名古屋圏から東京圏への人材流出の実態とその要因を定量・定性的に把握することを目的とする。なお、本研究では、都市圏を以下のとおり定義し、分析を行った。(表5)。

表5 都市圏の定義

都市圏	都道府県
名古屋圏	愛知県
東京圏	埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

## 1-2 先行事例整理と本研究の位置づけ

### (1) 先行事例整理

東京一極集中や人口流出に関する研究はすでに多く実施されているが、多くの研究は10代後半から20代前半における高校卒業後の進学や大学卒業後の就職を対象とした内容となっている。母数で見れば進学や就職のタイミングでの東京圏への転出が多くなっているが、近年では転職者が増加傾向にあること、名古屋圏から東京圏への転出超過をみると25～39歳における転出が多いことを鑑みると、転職のタイミングにおける転出が増加していると想定される。また、転職は個人の選好による選択行動であり、統計データだけでは詳細な要因を把握することは困難であることから、実態が明らかになっ

ていない。後述する民間の人材紹介・求人情報サービス事業者が実施している既存調査においても、都市圏をまたぐ移動実態までは詳細に把握されておらず、名古屋圏に着目したデータはあまり見られないのが現状である。

## **(2) 本研究の位置づけ**

本研究では、統計データのみでは把握が困難と考えられる転職に着目し、実際に転職を経験された方を対象に名古屋圏と東京圏の都市圏間移動を伴う転職の実態を把握する。

### **1-3 本研究の進め方**

はじめに、既存調査より転職実態を整理した。次に、民間の人材紹介・求人情報サービス事業者に対し、近年の転職事情に関するヒアリングを行うとともに、転職に伴い名古屋圏から東京圏への転出者に対するネットアンケート調査を行った。最後に、これらの結果を踏まえ、名古屋圏から東京圏への転職に伴う転出者の実態を整理した。

本研究を進めるにあたっては、学識者、名古屋市関係部局の職員で構成する研究会を開催しながら議論を深めた。

## **2 既存調査の整理**

### **2-1 既存調査の整理**

株式会社マイナビ「転職活動における行動特性調査 2023 年版<sup>3)</sup>」によると、東京圏における転職先の決定理由としては、「給与が良い」、「リモートワーク・在宅勤務が可能」、「会社に将来性、安定性がある」といった回答が上位となっており、名古屋圏では「給与が良い」という回答に加え、「現在のキャリアをこれまで以上に伸ばすことができる」、「福利厚生が整っている」といった回答が上位となっている。名古屋圏ではキャリアアップの意向は高い傾向がみられるが、東京圏では高い給与に加え、柔軟な働き方や将来性のある事業といったものが求められていると推察される。また、既存調査では、転職前後におけるエリア間移動の実態までは把握されていない。

また、名古屋市においては、転入者・転出者を対象としたアンケート調査<sup>4)</sup>を実施しており、仕事をするうえでの変化等に関する調査が実施された。この調査によると、名古屋圏から東京圏へ転出された方は、「仕事のやりがい」、「自分の挑戦したい分野に取り組める場面」、「キャリアアップにつながる」といった項目にポジティブな変化を感じている方が多い結果となっている。対して、東京圏から名古屋圏に転入された方は、「仕事の忙しさ」、「通勤時間」、「ワークライフバランス」にポジティブな変化を感じている方が多い結果となっている。この調査では、エリア間移動前後における仕事面の変化が整理されているが、仕事以外の要因や変化までは把握しきれていない。

以上より、本研究では、転職に伴うエリア間移動の実態を把握するとともに、仕事面や生活面の変化も踏まえた転職要因の把握を行う。

また、既存調査を踏まえ、名古屋圏から東京圏への転職に伴う転出が多い要因の仮説を 2 点設定した。1 点目は、東京圏への転出は、年収増だけでなく挑戦できる仕事やキャリアアップを求めにいく成長移動であるのではということ、2 点目は、名古屋圏の主力産業では、挑戦やスキルを伸ばす場として機能を発揮しにくいのではということである。これらの仮説について次章より分析を行った。

### 3 ヒアリング

#### 3-1 ヒアリング概要

既存調査・公表レポートでは把握しきれていない移動を伴う転職の傾向をより詳細に把握するため、民間の人材紹介・求人情報サービス事業者（マイナビキャリアリサーチLab様）へのヒアリング調査を実施した。

#### 3-2 ヒアリング結果

ヒアリングでは、転職市場における名古屋圏を含む地域間移動の傾向について、以下の知見が得られた。

##### （1）近年の移動傾向

近年の転職市場では、名古屋圏から東京圏への転職は件数として必ずしも多くなく、むしろ名古屋圏から大阪圏への転職件数の方が多い傾向にあるとの意見があった。ただし、転出超過という統計的観点からは、名古屋圏から東京圏への転出超過が大きいことから、本研究では東京圏への転職移動を重点的に分析対象とする。

##### （2）転職タイプの違い

名古屋圏から他都市圏への移動では、異業種・異職種への転職（フルチェンジ型転職）が多い傾向があるのに対し、同一都市圏内の移動では同業種・同職種への転職（組織チェンジ型転職）が多い傾向にある。フルチェンジ型転職の動機は、給与よりも仕事内容への不満や「新しいことに取り組みたい」という成長欲求が主な動機となっている。

##### （3）移動者の属性

他都道府県への転職割合は20代・30代の若い年代が多く、名古屋圏から他都市圏へ転職・移動する方は、配偶者なし・扶養家族なしの割合が高い傾向にある。これは、生活上の制約が少ない単身者ほど、リスクを取ってのキャリア移動を選択しやすいことを示唆している。

### 4 アンケート調査

#### 4-1 アンケート調査概要

前章までの内容を踏まえ、名古屋圏と他都市圏間の移動を伴う転職を経験された方を対象として、転職要因や転職前後の変化を定量的に把握することを目的としてWebアンケート調査を行った（表6）。調査対象は2015年4月以降に都市圏間の移動を伴う転職を経験された25歳から39歳とした。調査方法はインターネット調査とし、2026年1月8日から1月15日の約1週間で実施した。設問数は最大25問とし、転職経験者の転職要因から転職前後の生活実態の変化に関する内容までに関する内容まで幅広く調査項目を設定した。

表 6 Web アンケート調査の概要

調査期間	2026年1月8日～15日
調査対象	2015年4月以降に都市圏間の移動を伴う転職をされた方 年齢25～39歳（転職時）
回答者属性	名古屋圏→東京圏 127名 東京圏→名古屋圏 108名 計 235名
主な調査項目	・属性（性別、年齢、職種、出身地等） ・転職理由、他の都市圏への転出理由 ・転職前後の変化

## 4-2 アンケート調査の基礎集計結果

### (1) 属性

#### 1) 出身地

名古屋圏→東京圏の転出者の出身地をみると、愛知県出身者が約 49%と最も多く、次いで東京圏出身者が約 18%であった。東京圏→名古屋圏の転入者の出身地をみると、東京圏出身者が約 35%、愛知県出身者が約 32%であった(表 7)。転職による都市圏移動のうち、出身地への U ターン的な移動が一定数みられ、名古屋圏→東京圏で約 18%、東京圏→名古屋圏で約 32%が出身地への回帰移動と推定される。これは、純粋なキャリア追求型の移動だけでなく、家族・親族への回帰といった動機も人材移動に大きく寄与していることを示唆している。

#### 2) 転職時の婚姻・子どもの状況

転職時における婚姻状況をみると、名古屋圏→東京圏の転出者は未婚者 (50.4%) が既婚者 (48.0%) をやや上回っている。一方、東京圏→名古屋圏の転入者は既婚者 (52.8%) が多い。未婚・子どものいない若者ほど東京圏への転出を選択しやすい傾向が見て取れる(表 8)。

また、転職時における子どもの有無については、名古屋圏→東京圏の転出者では子どもがいない割合が 75.6%と高く、扶養家族のいない状態での転出・転職が多いことが確認できる。東京圏→名古屋圏では子どもあり (36.1%) の割合が高く、子育て環境や居住面積を重視して名古屋圏に戻る動機が働いている可能性がある(表 9)。

表 7 出身地

	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
北海道	2.4%	0.9%
東北	0.0%	5.6%
関東	18.9%	38.0%
北関東	0.8%	2.8%
東京圏	18.1%	35.2%
埼玉県	4.7%	6.5%
千葉県	1.6%	2.8%
東京都	8.7%	16.7%
神奈川県	3.1%	9.3%
中部	65.4%	40.7%
岐阜県	3.9%	2.8%
三重県	2.4%	2.8%
愛知県	48.8%	32.4%
近畿	9.4%	7.4%
大阪圏	6.3%	6.5%
京都府	0.8%	1.9%
大阪府	2.4%	3.7%
兵庫県	3.1%	0.9%
中国	1.6%	0.9%
四国	0.8%	0.0%
九州	1.6%	3.7%
福岡県	0.0%	0.9%
海外	0.0%	2.8%
計	100.0%	100.0%

表 8 転職時の結婚歴

	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
既婚	48.0%	52.8%
未婚	50.4%	43.5%
離・死別	1.6%	3.7%
計	100.0%	100.0%

表 9 転職時の子どもの有無

	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
いた	24.4%	36.1%
いない・いなかった	75.6%	63.9%
計	100.0%	100.0%

## (2) 転職要因

転職理由（複数回答）について、名古屋圏→東京圏、東京圏→名古屋圏の両グループで上位に挙げられた理由は以下のとおりである（図2）。

- ・ 1. やりたい業務・プロジェクトに携われる環境を求めた（名古屋圏→東京圏：19.7%、東京圏→名古屋圏：19.4%）
- ・ 2. 自分の能力・スキルをより活かせる仕事を求めた（名古屋圏→東京圏：18.9%、東京圏→名古屋圏：26.9%）
- ・ 8. 処遇（年収・賞与）を改善したいと思った（名古屋圏→東京圏：18.9%、東京圏→名古屋圏：24.1%）

	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
1. やりたい業務・プロジェクトに携われる環境を求めた	19.7%	19.4%
2. 自分の能力・スキルをより活かせる仕事を求めた	18.9%	26.9%
3. 裁量を持って仕事を進められる環境を求めた	7.9%	16.7%
4. 挑戦的な仕事に取り組める機会を求めた	11.0%	13.9%
5. 成長の機会（学習・研修・新しい業務）が多い環境を求めた	13.4%	18.5%
6. 成果や貢献がより適切に評価される環境を求めた	10.2%	12.0%
7. 納得できる昇給・昇進の機会を求めた	13.4%	18.5%
8. 処遇（年収・賞与）を改善したいと思った	18.9%	24.1%
9. 労働時間や残業の負担を見直したいと思った	13.4%	15.7%
10. 柔軟な働き方（在宅・フレックス等）が可能な環境を求めた	8.7%	6.5%
11. 休日・休暇を取りやすい環境を求めた	11.8%	12.0%
12. 自分に合うマネジメントのもとで働きたいと思った	4.7%	6.5%
13. 自分に合う職場の雰囲気・人間関係を求めた	15.7%	9.3%
14. 意思決定が速く、業務が効率的に進む環境を求めた	2.4%	3.7%
15. 将来性のある企業で働きたいと思った	13.4%	13.9%
16. 将来性のある業界で働きたいと思った	7.9%	8.3%
17. 納得できる勤務地・通勤条件を求めた	9.4%	13.0%
18. グローバルな仕事に携わりたと思った	3.1%	2.8%
19. 家族の事情（親の介護など）に対応できる働き方が必要だった	7.9%	8.3%
20. 配偶者の転職や転勤などにより、自身も転職する必要が生じた	14.2%	12.0%
21. その他：	3.9%	1.9%

図2 転職理由（左：名古屋圏→東京圏、右：東京圏→名古屋圏）

両方向の移動において「1. やりたい業務」「2. 能力・スキルの活用」「8. 処遇改善」が共通して上位に挙げられた。このことは、転職理由の主要素が年収だけでなく、仕事の質・内容・成長機会であることを示している。

両グループの差異として注目すべきは、名古屋圏→東京圏では、「20. 配偶者の転勤や転職による影響」（14.2%）が上位に挙がっている点である。パートナーに従う形での転出も一定数存在することが確認された。一方、東京圏→名古屋圏では、「3. 裁量を持った仕事を進められる環境を求めた」（16.7%）、「5. 成長の機会が多い環境を求めた」（18.5%）、「7. 昇給・昇進の機会を求めた」（18.5%）が相対的に高く、仕事内容・働き方に関する動機がより強く反映された結果となった。

転職理由を「仕事内容重視型」（やりたい業務、能力活用、裁量、成長機会）と「処遇重視型」（年収・賞与、昇給・昇進）に大別して比較すると、名古屋圏→東京圏の転出者においても仕事内容重視型の理由が処遇重視型の理由を上回っている。また、東京圏→名古屋圏の転入者においても仕事内容重視型の傾向がみられる。

これは本研究の仮説である名古屋圏からの転出は単純な年収アップ目的だけでなく、成長機会・仕事の質を求める成長移動である可能性と整合する結果といえるが、東京圏→名古屋圏の転入者においても同様の傾向が見られることから、転職市場全体として仕事内容・成長機会を重視する傾向が強まっていると解釈できる。

### (3) 他都市圏への転出理由

転職に際して他の都市圏へ転出した理由（複数回答）の主要結果は以下のとおりである（図3）。

#### 名古屋圏→東京圏の転出理由（上位）

- ・ 1. 希望する業種・職種の求人が他の都市圏の方が明らかに多いと感じたから（35.4%）
- ・ 10. パートナー・家族・友人がその都市圏に住んでいた、または住みたいと言っていたから（24.4%）
- ・ 3. キャリアアップにつながるポジションが他の都市圏に多いと感じたから（18.9%）
- ・ 5. 他の都市圏の方が、年収水準の高い勤め先が見つかると感じたから（17.3%）

#### 東京圏→名古屋圏の転入理由（上位）

- ・ 10. パートナー・家族・友人がその都市圏に住んでいた、または住みたいと言っていたから（23.1%）
- ・ 1. 希望する業種・職種の求人が他の都市圏の方が明らかに多いと感じたから（21.3%）
- ・ 11. 地元に戻りたかったから（20.4%）
- ・

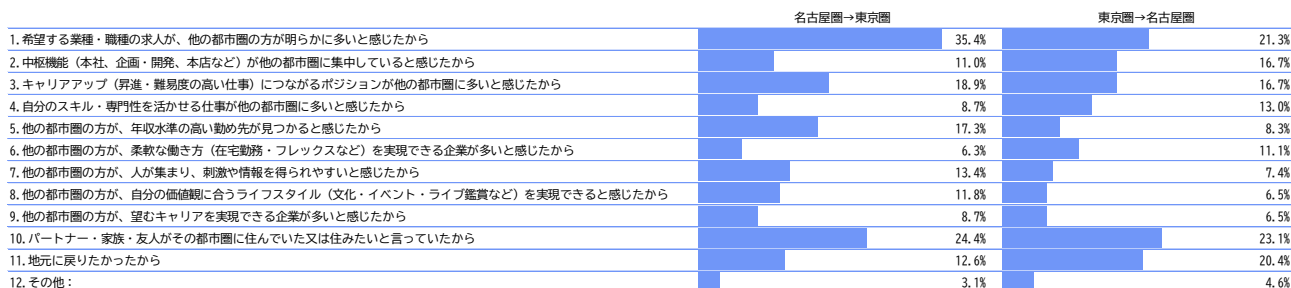


図3 他都市圏への転出理由（左：名古屋圏→東京圏、右：東京圏→名古屋圏）

名古屋圏→東京圏では、「1. 求人の多さ」、「3. キャリアアップ機会」、「5. 年収水準」が転出の主要因であり、東京圏の就業機会の厚さが強力な引力として機能していることが確認できる。一方、「10. パートナー・家族・友人の存在」も24.4%と高く、人的ネットワーク・家族要因も転出選択に大きく関与している。

東京圏→名古屋圏では「10. パートナー・家族・友人」「11. 地元回帰」が上位を占め、東京からの脱出よりも名古屋圏の地縁やUターン動機が強く働いている。

#### (4) 名古屋圏への定住意向と復帰条件

##### 1) 仮に条件が同じなら名古屋圏を選んだか

名古屋圏→東京圏へ転出した方を対象に、「今の仕事・年収・裁量と同条件なら、名古屋圏を選んだか」という問いを設けた(図4)。結果として、約44.9%が「名古屋圏を選んだと思う」と回答した一方、約53.5%が「それでも現在の仕事(東京圏)を選んだと思う」と回答した。

過半数が仕事・年収・裁量の条件が同じであっても名古屋圏に戻らないと回答していることは、転出には仕事面以外の要因(都市の楽しさ・人間関係・ライフスタイルなど)も大きく関与していることを示唆している。

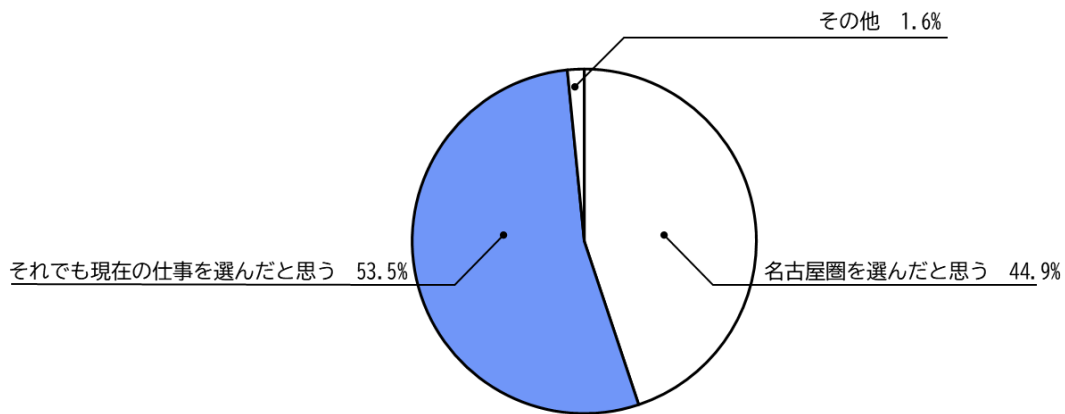


図4 今の仕事・年収・裁量と同条件なら、名古屋圏を選んだか(名古屋圏→東京圏)

##### 2) 名古屋圏に戻る(転職する)条件

名古屋圏→東京圏の転出者に対し、「次に転職する際、この条件があれば名古屋圏で転職する」という条件(複数回答)を尋ねた。回答率の高かった条件は以下のとおりである(図5)。

- ・ 14. 余暇を楽しめる商業施設・飲食・イベント等の選択肢が多い(61.4%)
- ・ 1. 年収が増加(56.7%)
- ・ 5. 希望する業種・職種の求人が名古屋圏に十分ある(53.5%)
- ・ 8. 自分の専門性・スキルを高められる研修・学習機会が充実している(53.5%)
- ・ 13. 地元や家族・友人との距離を今より近くできる(53.5%)
- ・ 4. テレワーク・フレックス等の柔軟な働き方がしやすい(51.2%)
- ・ 3. 職住近接している(50.4%)
- ・ 11. 同世代の人が多く働いている職場・エリアがある(50.4%)

		名古屋圏→東京圏
1. 年収が増加		56.7%
2. 本社・企画・研究開発等の中枢機能が名古屋圏に立地している		39.4%
3. 職住近接している		50.4%
4. テレワーク・フレックス等の柔軟な働き方がしやすい		51.2%
5. 希望する業種・職種の求人が名古屋圏に十分ある		53.5%
6. 希望する業種の産業が集積しており、人が集まりやすく、刺激や情報を得られやすい		48.8%
7. 若手でも裁量権が大きい仕事がある		44.1%
8. 自分の専門性・スキルを高められる研修・学習機会が充実している		53.5%
9. 成果ベースで昇給・昇格できる		49.6%
10. 職場の意思決定が速く、効率的な会議・打合せができる		45.7%
11. 同世代の人が多く働いている職場・エリアがある		50.4%
12. グローバルに活躍できる仕事がある		34.6%
13. 地元や家族・友人との距離を今より近くできる		53.5%
14. 余暇を楽しめる商業施設・飲食・イベント等の選択肢が多い		61.4%

図5 名古屋圏に戻る条件（名古屋圏→東京圏）

最も注目すべき点は、「14. 余暇を楽しめる選択肢が多い」（61.4%）が1. 年収（56.7%）を上回って最上位に挙げられたことである。これは、仕事面の条件整備のみでは名古屋圏への転入・定着を促すには不十分であり、都市としての文化・娯楽・飲食・エンターテイメント等の魅力向上が不可欠であることを示唆している。

また、「2. 本社・企画・研究開発等の中枢機能が名古屋圏に立地している」（39.4%）、「7. 若手でも裁量権が大きい仕事がある」（44.1%）も一定の支持を得ており、企業の中核機能の地方移転を促す環境整備の重要性も示されている。

### （5）転職前後の変化と生活実態

転職前後の変化（「（やや）良くなった」～「（やや）悪くなった」の差分）を分析すると、両方向の転職において多面的な変化が生じていることが明らかになった（図6）。

#### 名古屋圏→東京圏の主な変化

- ・ 仕事面の改善：3. 新たなスキルを身に付ける機会（+39.4%）、2. 仕事の裁量・責任の大きさ（+35.4%）、1. 仕事のやりがい（+29.9%）
- ・ 生活面の改善：12. 生活のしやすさ（+33.1%）、11. 生活のゆとり（+29.9%）、14. 住まいの立地の利便性（+24.4%）
- ・ 生活コストの悪化：8. 住居費（-27.6%）、7. 生活費等の支出額（-16.5%）

#### 東京圏→名古屋圏の主な変化

- ・ 居住面の大幅改善：10. 居住する住宅の広さ（+60.2%）、16. 住環境の快適さ（+34.3%）、14. 住まいの立地の利便性（+29.6%）、15. 治安・安全性（+28.7%）
- ・ 生活ゆとりの改善：11. 生活のゆとり（+48.1%）、12. 生活のしやすさ（+33.3%）
- ・ 年収の改善：6. 年収額（+37.0%）

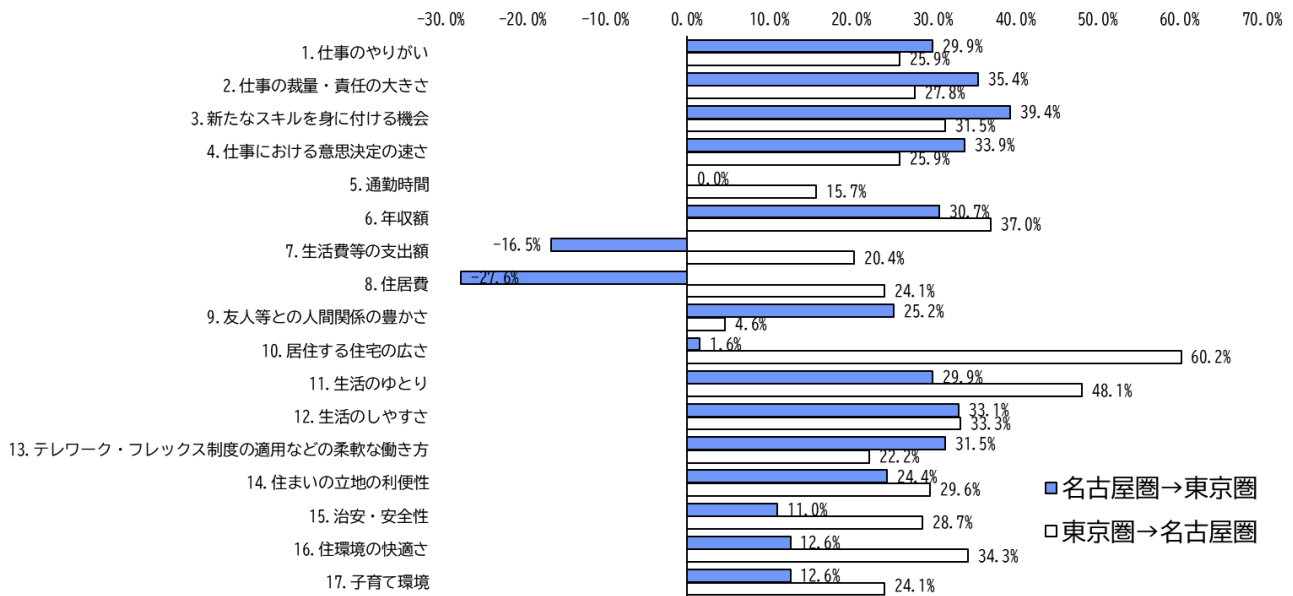


図6 転職前後の変化の差分

注目すべき点は、名古屋圏→東京圏への転出者においても、生活費・住居費は悪化するものの、仕事面だけでなく生活面（しやすさ・ゆとり）も改善していると感じている点である。東京圏へ転出後の総合的な生活評価は必ずしもマイナスではなく、都市としての魅力（商業施設・文化・余暇の豊富さ等）が生活満足度の向上に寄与していると推測される。

一方、東京圏→名古屋圏への転入者は、住宅の広さや生活コストの低さ、居住環境の快適さという点で大きな満足感を得ており、年収も上昇していることが確認された。これは名古屋圏が生活基盤として持つ優位性を示している。

仕事面に着目すると、名古屋圏→東京圏への転出者の方が東京圏→名古屋圏への転入者よりも差分が大きいものの、そこまで大きな差は生じない結果となった。

#### 4-3 アンケート調査の抽出集計結果

前章の内容を踏まえ、アンケート調査結果を抽出集計することで、より詳細に転職実態を明らかにする。

##### (1) 1番の転職理由が配偶者の転職や転勤による影響以外

配偶者の転職・転勤による影響を主たる転職理由と回答した方を除いた抽出集計（男性64人・女性48人）において、男女別の転出理由を比較した（図7）。

男女ともに「1. 求人の多さ」が最上位（男性：35.9%、女性：43.8%）となり、「3. キャリアアップ」も上位（男性：21.9%、女性：18.8%）であった。男女に共通して、東京圏の求人の豊富さとキャリアアップ機会が転出の主要因となっている。

一方で、女性特有の特徴として「5. 年収水準の高さ」（25.0%、男性14.1%）と「8. 価値観に合うライフスタイルの実現」（18.8%、男性6.3%）が相対的に高い。これは、女性が仕事面の条件だけでなく、生活スタイルや文化・余暇の選択肢という観点でも東京圏に魅力を感じている可能性が考えられる。名古屋圏の就業機会・賃金水準の改善のみならず、都市としての生活魅力の向上が女性の転出抑制に重要であることが読み取れる。

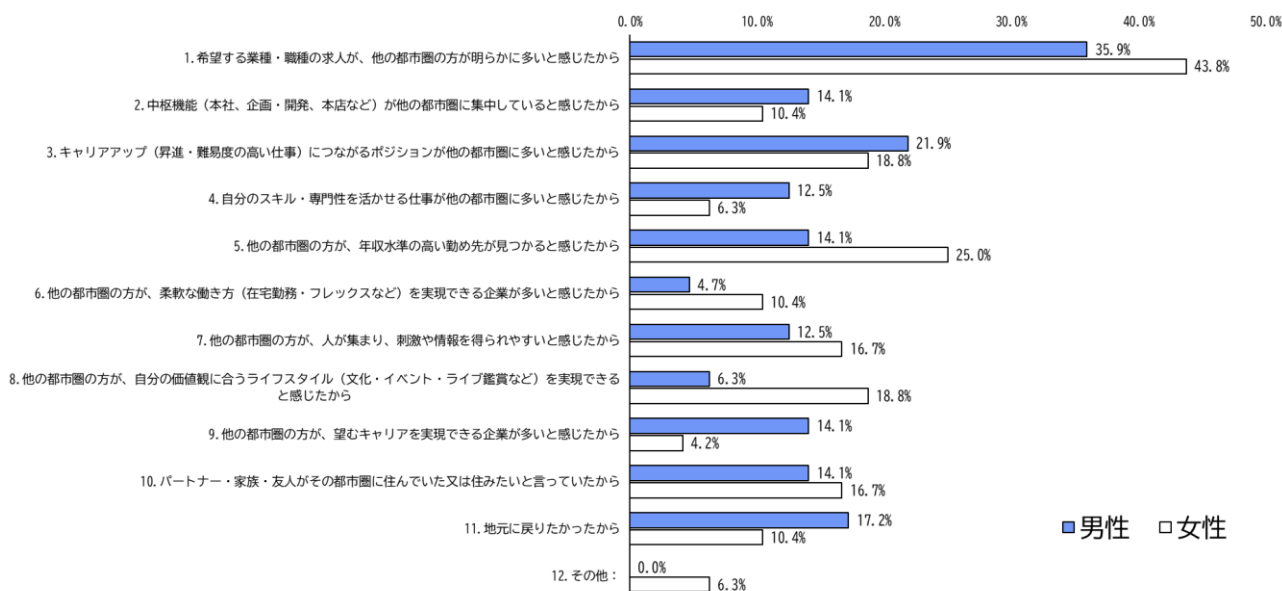


図 7 他の都市圏への転出理由（名古屋圏→東京圏）

## （２）転職後に年収が増加した層の分析

転職後に年収が増加した方（名古屋圏→東京圏：43人、東京圏→名古屋圏：38人）の抽出集計を行った。

### 1) 転職前後の年収の変化

転職前後の年収変化は以下のとおりである（図8）。

年収が増加した層における平均年収の変化は、名古屋圏→東京圏で転職前約529万円→転職後約731万円（+202万円）、東京圏→名古屋圏で転職前約613万円→転職後約797万円（+184万円）であった。絶対額の上昇幅は名古屋圏→東京圏の方が大きいですが、東京圏→名古屋圏でも平均184万円の年収増が実現している。

また、個人年収1,000万円超の割合は、名古屋圏→東京圏で転職前約7%→転職後約14%、東京圏→名古屋圏で転職前約8%→転職後約14%と、両グループともに転職後に高年収層の割合が倍増している。

年収	名古屋圏→東京圏		東京圏→名古屋圏	
	名古屋圏	東京圏	東京圏	名古屋圏
100万円以下	4.7%	0.0%	2.6%	0.0%
100万円超～200万円以下	7.0%	2.3%	0.0%	2.6%
200万円超～300万円以下	4.7%	4.7%	7.9%	0.0%
300万円超～400万円以下	18.6%	4.7%	7.9%	2.6%
400万円超～500万円以下	18.6%	18.6%	15.8%	5.3%
500万円超～600万円以下	16.3%	14.0%	23.7%	10.5%
600万円超～700万円以下	9.3%	14.0%	13.2%	21.1%
700万円超～800万円以下	7.0%	7.0%	7.9%	15.8%
800万円超～900万円以下	4.7%	11.6%	5.3%	10.5%
900万円超～1,000万円以下	2.3%	9.3%	7.9%	10.5%
1,000万円超～1,100万円以下	2.3%	4.7%	0.0%	7.9%
1,100万円超～1,200万円以下	0.0%	0.0%	5.3%	2.6%
1,200万円超～1,300万円以下	2.3%	0.0%	0.0%	5.3%
1,300万円超～1,400万円以下	0.0%	2.3%	0.0%	2.6%
1,400万円超～1,500万円以下	0.0%	2.3%	2.6%	0.0%
1,500万円超～1,600万円以下	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1,600万円超～1,700万円以下	2.3%	0.0%	0.0%	2.6%
1,700万円超～1,800万円以下	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1,800万円超～1,900万円以下	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1,900万円超～2,000万円以下	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2,000万円超	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
平均年収[万円]	529	731	613	797

図 8 転職前後の個人年収

## 2) 転職前後の業種・役職の変化

業種別の変化をみると、以下の特徴が確認された（図9）。

名古屋圏→東京圏では、金融業・保険業が16.3%→7.0%と減少し、建設業（0%→7.0%）・サービス業（7.0%→14.0%）が増加した。

東京圏→名古屋圏では、医療・福祉（10.5%→2.6%）・サービス業（7.9%→0%）が減少し、製造業（23.7%→28.9%）・情報通信業（5.3%→10.5%）・教育学習支援業（2.6%→7.9%）が増加した。

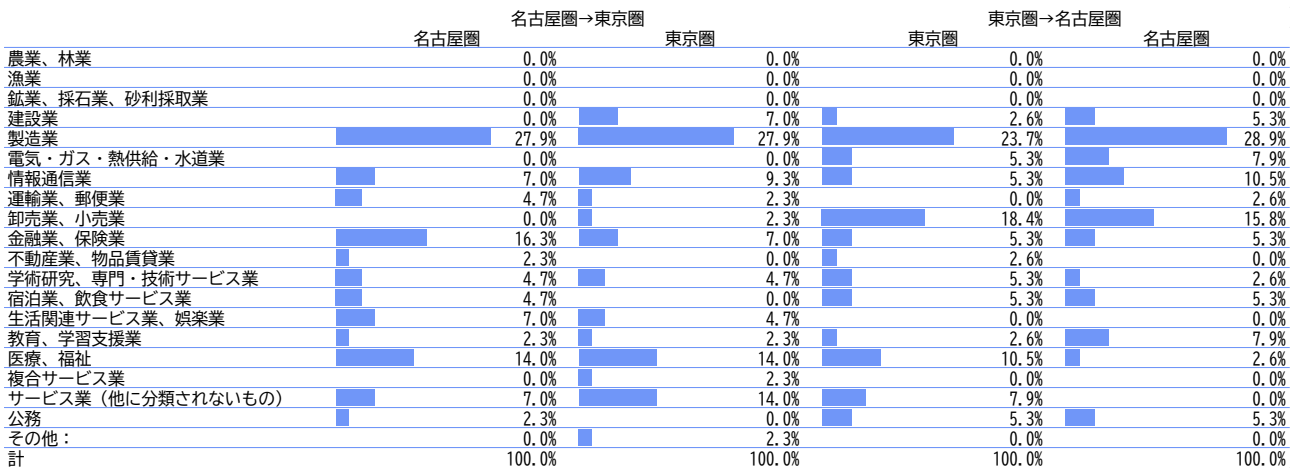


図9 転職前後の業種

役職の変化をみると、以下の特徴が確認された（図10）。

特に注目すべき点として、名古屋圏→東京圏では転職後に役職が下がる割合が高く（部長級4.7%→0.0%）、東京圏→名古屋圏では役職が上がる割合が高い（課長級10.5%→21.1%）ことが挙げられる。東京圏では市場の賃金水準に沿って年収が上昇するため、役職を下げてでも年収増が実現するケースがある。一方、名古屋圏では、より重い役割・ポジションを提示することで年収増を実現している。つまり、名古屋圏は責任・裁量を伴うポジションの付与によって人材を引き付ける構造となっており、この点が名古屋圏の人材誘致における重要な訴求ポイントになりうる。

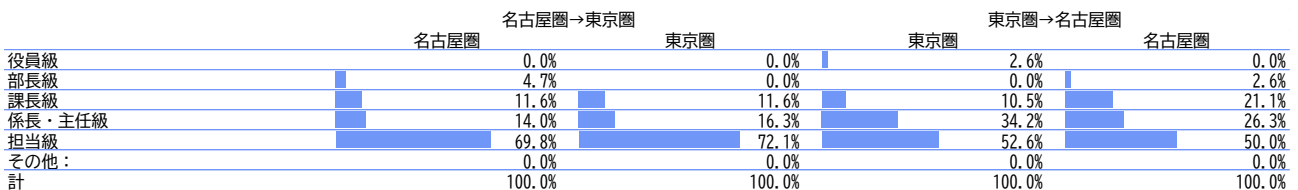


図10 転職前後の役職

## 3) 転職前後の変化

東京圏→名古屋圏のグループについて、転職前後の変化の差分をみると、以下の特徴が確認された（図11）。

- 1. 仕事のやりがい (+60.5%)、2. 仕事の裁量・責任 (+57.9%)、3. 新たなスキル (+52.6%) といった仕事面が良くなったという割合が多い。

- ・ 10. 住宅の広さ (+60.5%)、11. 生活のゆとり (+55.3%) といった生活面も良くなった割合が高い。

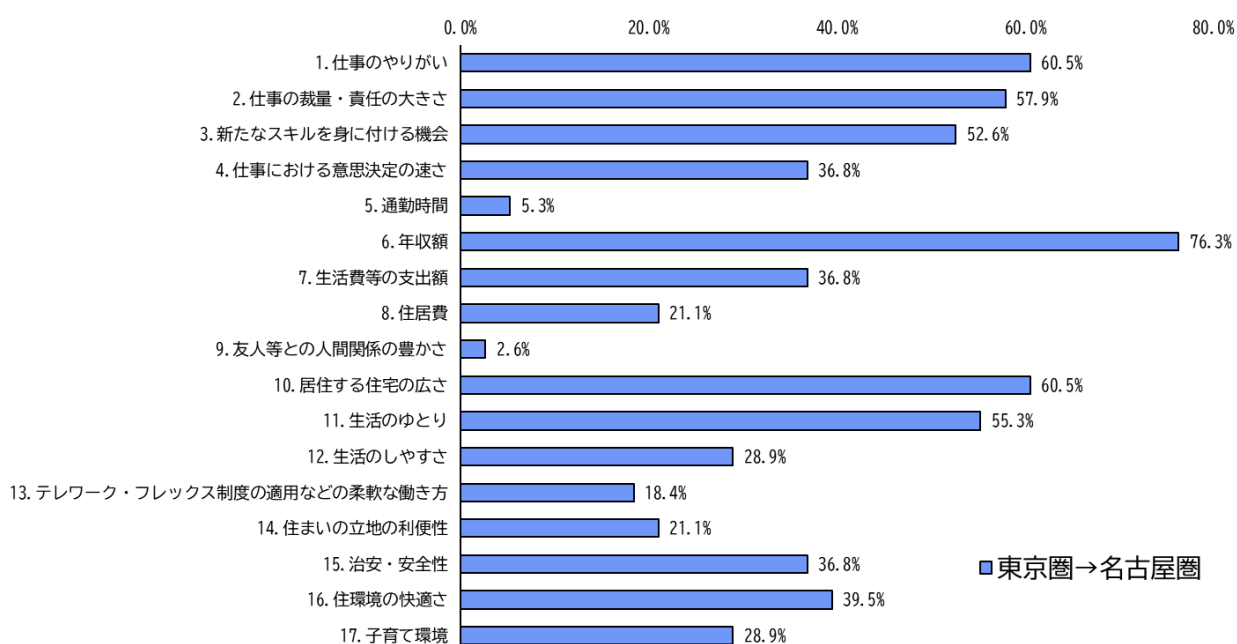


図 11 転職前後の変化の差分

## 5 とりまとめ

### 5-1 主な知見

本研究で得られた主要な知見を整理すると、以下のとおりである。

#### (1) 転職移動は年収だけでなく成長欲求に基づく

名古屋圏→東京圏・東京圏→名古屋圏の双方において、転職理由の上位にはやりたい業務・スキル活用・処遇改善が挙げられている。単純な賃金格差による移動だけでなく、仕事の内容・質・成長機会を求める成長移動の側面が確認された。

#### (2) 東京圏への転出には求人 thickness が最大の引力

名古屋圏→東京圏への転出理由として「希望する業種・職種の求人の多さ」が最上位 (35.4%) に挙げられた。特に、女性はライフスタイルも含めた東京圏の多様性を重視する傾向が強い。名古屋圏の産業構造 (製造業偏重) が求人の多様性の点で東京圏に劣る状況が、人材流出の構造的要因となっている可能性が示唆される。

#### (3) 転出者の過半数が生活面の要因で東京圏を選び続ける

仕事・年収・裁量の条件が同等でも、名古屋圏→東京圏の転出者の過半数 (約 54%) が現在の仕事 (東京圏) を選ぶと回答した。都市としての楽しさ・文化・人間関係が転出選択に大きく影響していることが示された。

#### (4) 名古屋圏への転入は居住面と役割・裁量が強み

東京圏→名古屋圏の転入者は、住宅の広さ・生活のゆとり・居住環境の快適さ・年収増加といった点で大きな満足度改善を経験している。役職が上がる割合が高く、名古屋圏はより重い役割を担い、年収を上げる機会を提供することで人材を引き付けている。

### **(5) 名古屋圏への転入・定着に向けた最大条件は余暇の充実**

名古屋圏で転職してもよい条件として、年収（56.7%）を上回り「余暇を楽しめる選択肢の多さ」（61.4%）が最上位に挙げられた。仕事面だけでなく、都市としての生活魅力の向上が人材定着の鍵となる。

## **5-2 政策的示唆と今後の方向性**

以上の知見を踏まえ、東京一極集中の是正と名古屋圏の人材定着・誘致に向けて、以下の三方向からの対応が求められると考えられる。

### **(1) 仕事面の多様性・成長機会の拡充**

名古屋圏における求人の多様性（業種・職種・スキルレベル）の拡大が求められる。具体的には、スタートアップ・IT・クリエイティブ産業の誘致・育成、大企業の中核機能（企画・研究開発・マーケティング等）の名古屋圏への移設促進、若手でも裁量を持てる職場環境・採用文化の醸成などが考えられる。また、専門性・スキルを高める研修・学習機会（リスクリング支援等）の整備も重要である。

### **(2) 都市としての余暇・生活魅力の強化**

転出抑制・転入促進に向けて、都市の生活魅力の向上が不可欠である。特に25～39歳の働き盛りが楽しめる商業施設・飲食・文化・エンターテインメント・スポーツ等の選択肢の充実が求められる。また、同世代の人が集まる職場・エリアの形成（ライフスタイル型まちづくり）も転出抑制効果が期待される。職住近接や柔軟な働き方（テレワーク・フレックス）の普及も、名古屋圏の生活魅力向上に寄与するものと考えられる。

### **(3) 役割・裁量・年収のセットによる人材誘致**

東京圏からの転入者の分析から、名古屋圏は役職・裁量を上げることで年収も増加させるモデルで人材を引き付けていることが明らかになった。今後は、このモデルをより積極的に活用し、東京圏のキャリア人材に対して名古屋圏でのポジションアップ・即戦力採用・幹部候補採用を訴求することが有効と考えられる。行政・産業界が連携した人材誘致プログラムや、転職・移住マッチング支援の拡充が期待される。

## **6 おわりに**

本調査研究では、25～39歳を対象として転職に伴う名古屋圏から東京圏への転出実態を把握し、それを是正する方策の提案を行った。今回の調査研究ではインターネット調査によるサンプルを用いており、転職・移住経験者のみを対象としているため、一般化には限界がある。今後は、名古屋圏に留まった人材との比較調査や、企業の採用実態に関する調査など、多角的な研究の深化が求められる。

また、今回のアンケート調査では、実際に転職を経験され、移動した都市圏や年齢、時期に関する

スクリーニングをかけたこともあり、回収できたサンプル数が想定よりもかなり少なくなってしまったことも課題となった。属性別に抽出調査をしても耐えうるサンプル数を確保したうえで、より詳細な要因分析を行うことができれば、転職要因の深度化が図られると考えられる。

今回、人口流出が止まらない要因分析を行うにあたり、転職に着目して調査研究を行ったが、名古屋圏から中核を担う人材の流出に歯止めがかかり、将来も名古屋が持続的な発展を遂げられるようなまちづくりが進むことを期待したい。

今回の調査研究が、今後の名古屋のまちづくりの一助になれば幸いである。

## 謝 辞

本調査研究にあたって、研究会にご参加いただいた南山大学総合政策学部の狭間諒多朗准教授、名古屋市総務局企画課・経済局産業立地交流課・住宅都市局都市計画課の皆さま、関係部署の皆さま、ヒアリングにご協力くださったマイナビキャリアリサーチ Lab 様に心より感謝を申し上げます。

### 【参考文献等】

---

- 1) 「国勢調査 移動人口の男女・年齢等集計」(平成 27 年、令和 2 年)
- 2) 「労働力調査 年齢階級(10 歳階級)別転職者数及び転職者比率」総務省(2024 年)
- 3) 「転職活動における行動特性調査 2023 年版」株式会社マイナビ
- 4) 「転入・転出者アンケート」名古屋市(令和 4 年)

<https://www.city.nagoya.jp/shisei/keikaku/1010854/1011017/1011024.html>

## 【資料編】 Web アンケート調査 基礎集計結果

### 1 調査概要

調査期間	2026年1月8日～15日
調査対象	2015年4月以降に都市圏間の移動を伴う転職をされた方 年齢25～39歳（転職時）
回答者属性	名古屋圏→東京圏 127名 東京圏→名古屋圏 108名 計 235名
主な調査項目	・属性（性別、年齢、職種、出身地等） ・転職理由、他の都市圏への転出理由 ・転職前後の変化

## 2 基礎集計結果

Q1 あなたの出身地をお答えください。

都道府県	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
北海道	2.4%	0.9%
青森県	0.0%	0.0%
岩手県	0.0%	0.0%
宮城県	0.0%	0.0%
秋田県	0.0%	0.9%
山形県	0.0%	1.9%
福島県	0.0%	2.8%
茨城県	0.8%	1.9%
栃木県	0.0%	0.0%
群馬県	0.0%	0.9%
埼玉県	4.7%	6.5%
千葉県	1.6%	2.8%
東京都	8.7%	16.7%
神奈川県	3.1%	9.3%
新潟県	0.8%	0.0%
富山県	0.0%	0.9%
石川県	1.6%	0.0%
福井県	0.8%	0.0%
山梨県	0.8%	0.0%
長野県	0.8%	0.0%
岐阜県	3.9%	2.8%
静岡県	5.5%	1.9%
愛知県	48.8%	32.4%
三重県	2.4%	2.8%
滋賀県	0.0%	0.0%
京都府	0.8%	1.9%
大阪府	2.4%	3.7%
兵庫県	3.1%	0.9%
奈良県	1.6%	0.0%
和歌山県	1.6%	0.9%
鳥取県	0.0%	0.0%
島根県	0.0%	0.0%
岡山県	1.6%	0.9%
広島県	0.0%	0.0%
山口県	0.0%	0.0%
徳島県	0.0%	0.0%
香川県	0.0%	0.0%
愛媛県	0.8%	0.0%
高知県	0.0%	0.0%
福岡県	0.0%	0.9%
佐賀県	0.0%	0.0%
長崎県	0.0%	1.9%
熊本県	0.0%	0.0%
大分県	0.8%	0.0%
宮崎県	0.0%	0.0%
鹿児島県	0.8%	0.9%
沖縄県	0.0%	0.0%
海外	0.0%	2.8%
計	100.0%	100.0%

Q2 あなたの最終学歴となる学校の所在地（県）をお答えください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
北海道	2.4%	0.9%
青森県	0.8%	0.0%
岩手県	0.0%	0.0%
宮城県	0.0%	1.9%
秋田県	0.0%	0.0%
山形県	0.8%	0.0%
福島県	0.0%	0.0%
茨城県	0.0%	2.8%
栃木県	0.0%	0.0%
群馬県	0.0%	0.9%
埼玉県	1.6%	3.7%
千葉県	1.6%	1.9%
東京都	22.8%	32.4%
神奈川県	7.1%	5.6%
新潟県	0.0%	0.0%
富山県	0.0%	0.0%
石川県	0.0%	0.0%
福井県	0.8%	0.9%
山梨県	0.8%	0.0%
長野県	0.0%	0.0%
岐阜県	1.6%	0.0%
静岡県	2.4%	2.8%
愛知県	39.4%	26.9%
三重県	2.4%	0.0%
滋賀県	0.0%	0.0%
京都府	2.4%	3.7%
大阪府	6.3%	4.6%
兵庫県	3.1%	0.9%
奈良県	1.6%	1.9%
和歌山県	0.0%	0.9%
鳥取県	0.0%	0.0%
島根県	0.0%	0.0%
岡山県	0.0%	0.0%
広島県	0.8%	0.0%
山口県	0.0%	0.0%
徳島県	0.0%	0.0%
香川県	0.0%	0.0%
愛媛県	0.0%	0.0%
高知県	0.0%	0.0%
福岡県	0.0%	0.9%
佐賀県	0.0%	0.0%
長崎県	0.0%	1.9%
熊本県	0.0%	0.0%
大分県	0.0%	0.0%
宮崎県	0.0%	0.0%
鹿児島県	0.8%	0.9%
沖縄県	0.0%	0.0%
海外	0.8%	3.7%
計	100.0%	100.0%

Q3 あなたの転職回数を教えてください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
1回	40.9%	51.9%
2回	20.5%	25.9%
3回	16.5%	10.2%
4回	6.3%	2.8%
5回	5.5%	4.6%
6回	3.9%	0.9%
7回	0.8%	0.9%
8回	2.4%	0.0%
9回	0.8%	0.0%
10回以上	2.4%	2.8%
計	100.0%	100.0%

Q4 未既婚（転職時）について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
既婚	48.0%	52.8%
未婚	50.4%	43.5%
離・死別	1.6%	3.7%
計	100.0%	100.0%

Q5 あなたのお子様の有無（転職時）について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
いた	24.4%	36.1%
いない・いなかった	75.6%	63.9%
計	100.0%	100.0%

Q6 転職後の業種について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
農業、林業	1.6%	0.9%
漁業	0.0%	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	0.0%	0.0%
建設業	3.9%	6.5%
製造業	21.3%	23.1%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.8%	4.6%
情報通信業	14.2%	5.6%
運輸業、郵便業	3.1%	5.6%
卸売業、小売業	6.3%	13.9%
金融業、保険業	6.3%	6.5%
不動産業、物品賃貸業	1.6%	1.9%
学術研究、専門・技術サービス業	1.6%	1.9%
宿泊業、飲食サービス業	2.4%	2.8%
生活関連サービス業、娯楽業	3.1%	1.9%
教育、学習支援業	2.4%	3.7%
医療、福祉	13.4%	7.4%
複合サービス業	1.6%	0.9%
サービス業（他に分類されないもの）	10.2%	7.4%
公務	1.6%	5.6%
その他：	4.7%	0.0%
計	100.0%	100.0%

Q7 転職後の職種について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
経営・管理・経営企画（役員、事業企画、本社経営企画など）	4.7%	8.3%
企画・マーケティング・コンサルティング（商品企画、マーケ、戦略コンサルなど）	8.7%	1.9%
事務・管理部門（総務、人事、経理、法務、広報などバックオフィス）	13.4%	21.3%
営業・営業企画・カスタマーサクセス（法人営業、個人営業、営業企画、CSなど）	23.6%	24.1%
技術系（メーカー/モノづくり系）（開発設計、生産技術、品質管理、保全など）	4.7%	8.3%
技術系（IT・情報システム系）（SE、PG、インフラ、データサイエンス、社内SEなど）	7.9%	8.3%
生産・物流・現場オペレーション（製造オペレーター、倉庫、物流現場、設備オペなど）	5.5%	5.6%
クリエイティブ系（デザイン、コンテンツ制作、広告制作など）	1.6%	0.9%
専門職（医療・福祉・教育・土業など）	15.7%	11.1%
販売・接客・サービス	11.0%	7.4%
その他：	3.1%	2.8%
計	100.0%	100.0%

Q8 転職後の職位（転職した直後）について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
役員級	0.8%	1.9%
部長級	1.6%	1.9%
課長級	11.0%	13.0%
係長・主任級	14.2%	27.8%
担当級（役職なし、契約社員、派遣社員等）	71.7%	53.7%
その他：	0.8%	1.9%
計	100.0%	100.0%

Q9 転職後の個人年収（現在）について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
100万円以下	2.4%	2.8%
100万円超～200万円以下	3.9%	2.8%
200万円超～300万円以下	6.3%	5.6%
300万円超～400万円以下	15.7%	6.5%
400万円超～500万円以下	15.7%	12.0%
500万円超～600万円以下	11.0%	15.7%
600万円超～700万円以下	9.4%	13.0%
700万円超～800万円以下	7.1%	10.2%
800万円超～900万円以下	4.7%	5.6%
900万円超～1,000万円以下	3.1%	6.5%
1,000万円超～1,100万円以下	2.4%	4.6%
1,100万円超～1,200万円以下	0.0%	0.9%
1,200万円超～1,300万円以下	0.0%	2.8%
1,300万円超～1,400万円以下	1.6%	1.9%
1,400万円超～1,500万円以下	0.8%	0.0%
1,500万円超～1,600万円以下	0.0%	0.0%
1,600万円超～1,700万円以下	0.0%	0.9%
1,700万円超～1,800万円以下	0.8%	0.9%
1,800万円超～1,900万円以下	0.8%	0.0%
1,900万円超～2,000万円以下	0.0%	0.0%
2,000万円超	1.6%	0.9%
分からない・答えたくない	12.6%	6.5%
計	100.0%	100.0%

Q10 転職後（現在）の毎月の住宅費（住宅ローンの返済額・家賃等）について、お答えください。

※世帯として支払う額の合計をお答えください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
0円	12.6%	11.1%
1～25,000円	3.1%	2.8%
25,001～50,000円	10.2%	10.2%
50,001～75,000円	12.6%	23.1%
75,001～100,000円	22.8%	22.2%
100,001～125,000円	13.4%	10.2%
125,001～150,000円	7.9%	2.8%
150,001～175,000円	0.0%	5.6%
175,001～200,000円	0.8%	2.8%
200,001円以上	4.7%	0.9%
分からない	11.8%	8.3%
計	100.0%	100.0%

Q11 転職後の居住地について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127	n=108
	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
北海道	1.6%	0.0%
青森県	0.0%	0.0%
岩手県	0.0%	0.0%
宮城県	0.0%	0.9%
秋田県	0.8%	0.9%
山形県	0.0%	0.0%
福島県	0.0%	0.9%
茨城県	0.0%	1.9%
栃木県	0.0%	0.0%
群馬県	0.0%	0.0%
埼玉県	9.4%	3.7%
千葉県	8.7%	0.9%
東京都	53.5%	7.4%
神奈川県	14.2%	2.8%
新潟県	0.0%	0.0%
富山県	0.0%	0.0%
石川県	0.0%	0.0%
福井県	0.0%	0.0%
山梨県	0.0%	0.0%
長野県	0.0%	0.0%
岐阜県	0.0%	0.0%
静岡県	0.0%	0.0%
愛知県	10.2%	78.7%
三重県	0.0%	0.0%
滋賀県	0.0%	0.0%
京都府	0.0%	0.0%
大阪府	0.0%	1.9%
兵庫県	0.8%	0.0%
奈良県	0.0%	0.0%
和歌山県	0.0%	0.0%
鳥取県	0.0%	0.0%
島根県	0.0%	0.0%
岡山県	0.0%	0.0%
広島県	0.0%	0.0%
山口県	0.0%	0.0%
徳島県	0.0%	0.0%
香川県	0.0%	0.0%
愛媛県	0.0%	0.0%
高知県	0.0%	0.0%
福岡県	0.8%	0.0%
佐賀県	0.0%	0.0%
長崎県	0.0%	0.0%
熊本県	0.0%	0.0%
大分県	0.0%	0.0%
宮崎県	0.0%	0.0%
鹿児島県	0.0%	0.0%
沖縄県	0.0%	0.0%
海外	0.0%	0.0%
計	100.0%	100.0%

Q12 転職前の業種について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
農業、林業	0.8%	0.9%
漁業	0.8%	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	0.0%	0.0%
建設業	0.0%	7.4%
製造業	22.0%	20.4%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.0%	1.9%
情報通信業	10.2%	7.4%
運輸業、郵便業	3.1%	5.6%
卸売業、小売業	7.1%	14.8%
金融業、保険業	11.0%	6.5%
不動産業、物品賃貸業	1.6%	2.8%
学術研究、専門・技術サービス業	1.6%	3.7%
宿泊業、飲食サービス業	3.9%	2.8%
生活関連サービス業、娯楽業	4.7%	4.6%
教育、学習支援業	2.4%	0.9%
医療、福祉	13.4%	9.3%
複合サービス業	1.6%	0.9%
サービス業（他に分類されないもの）	9.4%	5.6%
公務	2.4%	4.6%
その他：	3.9%	0.0%
計	100.0%	100.0%

Q13 転職前の職種について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
経営・管理・経営企画（役員、事業企画、本社経営企画など）	3.9%	6.5%
企画・マーケティング・コンサルティング（商品企画、マーケ、戦略コンサルなど）	7.9%	3.7%
事務・管理部門（総務、人事、経理、法務、広報などバックオフィス）	11.0%	23.1%
営業・営業企画・カスタマーサクセス（法人営業、個人営業、営業企画、CSなど）	26.0%	23.1%
技術系（メーカー/モノづくり系）（開発設計、生産技術、品質管理、保全など）	7.1%	7.4%
技術系（IT・情報システム系）（SE、PG、インフラ、データサイエンス、社内SEなど）	7.1%	5.6%
生産・物流・現場オペレーション（製造オペレーター、倉庫、物流現場、設備オペなど）	5.5%	2.8%
クリエイティブ系（デザイン、コンテンツ制作、広告制作など）	2.4%	2.8%
専門職（医療・福祉・教育・土業など）	15.0%	12.0%
販売・接客・サービス	11.8%	10.2%
その他：	2.4%	2.8%
計	100.0%	100.0%

Q14 転職前の職位について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
役員級	0.8%	1.9%
部長級	2.4%	0.9%
課長級	11.0%	9.3%
係長・主任級	16.5%	29.6%
担当級（役職なし、契約社員、派遣社員等）	69.3%	56.5%
その他：	0.0%	1.9%
計	100.0%	100.0%

Q15 転職前の個人年収について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127	n=108
	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
100万円以下	3.1%	1.9%
100万円超～200万円以下	7.1%	0.9%
200万円超～300万円以下	5.5%	8.3%
300万円超～400万円以下	17.3%	7.4%
400万円超～500万円以下	15.7%	18.5%
500万円超～600万円以下	12.6%	19.4%
600万円超～700万円以下	9.4%	12.0%
700万円超～800万円以下	7.9%	8.3%
800万円超～900万円以下	2.4%	2.8%
900万円超～1,000万円以下	1.6%	5.6%
1,000万円超～1,100万円以下	1.6%	0.9%
1,100万円超～1,200万円以下	0.0%	2.8%
1,200万円超～1,300万円以下	0.8%	0.9%
1,300万円超～1,400万円以下	0.0%	0.9%
1,400万円超～1,500万円以下	0.0%	0.9%
1,500万円超～1,600万円以下	0.0%	0.0%
1,600万円超～1,700万円以下	0.8%	0.0%
1,700万円超～1,800万円以下	0.0%	1.9%
1,800万円超～1,900万円以下	1.6%	0.0%
1,900万円超～2,000万円以下	0.0%	0.0%
2,000万円超	0.8%	0.9%
分からない・答えたくない	11.8%	5.6%
計	100.0%	100.0%

Q16 転職前の居住地について、お答えください。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

	n=127	n=108
	名古屋圏→東京圏	東京圏→名古屋圏
北海道	1.6%	0.0%
青森県	0.0%	0.0%
岩手県	0.8%	0.0%
宮城県	0.0%	0.0%
秋田県	0.0%	0.9%
山形県	0.0%	0.9%
福島県	0.0%	0.0%
茨城県	0.0%	1.9%
栃木県	0.0%	0.0%
群馬県	0.0%	0.0%
埼玉県	0.8%	8.3%
千葉県	4.7%	7.4%
東京都	14.2%	39.8%
神奈川県	3.1%	17.6%
新潟県	0.0%	0.9%
富山県	0.0%	0.0%
石川県	0.0%	0.0%
福井県	0.0%	0.0%
山梨県	0.0%	0.0%
長野県	0.0%	0.0%
岐阜県	0.8%	0.0%
静岡県	1.6%	0.0%
愛知県	71.7%	20.4%
三重県	0.0%	0.0%
滋賀県	0.0%	0.0%
京都府	0.0%	0.0%
大阪府	0.0%	0.9%
兵庫県	0.0%	0.0%
奈良県	0.0%	0.0%
和歌山県	0.0%	0.0%
鳥取県	0.0%	0.9%
島根県	0.0%	0.0%
岡山県	0.0%	0.0%
広島県	0.0%	0.0%
山口県	0.0%	0.0%
徳島県	0.0%	0.0%
香川県	0.0%	0.0%
愛媛県	0.0%	0.0%
高知県	0.0%	0.0%
福岡県	0.8%	0.0%
佐賀県	0.0%	0.0%
長崎県	0.0%	0.0%
熊本県	0.0%	0.0%
大分県	0.0%	0.0%
宮崎県	0.0%	0.0%
鹿児島県	0.0%	0.0%
沖縄県	0.0%	0.0%
海外	0.0%	0.0%
計	100.0%	100.0%

Q17 あなたが転職したいと考えるようになったのはいつですか。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
最初の就職をする前から、転職する前提で就職活動をしていた	18.1%	19.4%
前職に就いているときに転職したいと考え始めた	78.0%	76.9%
その他：	3.9%	3.7%
計	100.0%	100.0%

Q18 あなたが転職しようと思った理由は何ですか。(MA)

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
1. やりたい業務・プロジェクトに携われる環境を求めた（前職では機会が限られていた）	19.7%	19.4%
2. 自分の能力・スキルをより活かせる仕事を求めた	18.9%	26.9%
3. 裁量を持って仕事を進められる環境を求めた	7.9%	16.7%
4. 挑戦的な仕事に取り組める機会を求めた	11.0%	13.9%
5. 成長の機会（学習・研修・新しい業務）が多い環境を求めた	13.4%	18.5%
6. 成果や貢献がより適切に評価される環境を求めた	10.2%	12.0%
7. 納得できる昇給・昇進の機会を求めた	13.4%	18.5%
8. 処遇（年収・賞与）を改善したいと思った	18.9%	24.1%
9. 労働時間や残業の負担を見直したいと思った	13.4%	15.7%
10. 柔軟な働き方（在宅・フレックス等）が可能な環境を求めた	8.7%	6.5%
11. 休日・休暇を取りやすい環境を求めた	11.8%	12.0%
12. 自分に合うマネジメントのもとで働きたいと思った	4.7%	6.5%
13. 自分に合う職場の雰囲気・人間関係を求めた	15.7%	9.3%
14. 意思決定が速く、業務が効率的に進む環境を求めた	2.4%	3.7%
15. 将来性のある企業で働きたいと思った	13.4%	13.9%
16. 将来性のある業界で働きたいと思った	7.9%	8.3%
17. 納得できる勤務地・通勤条件を求めた	9.4%	13.0%
18. グローバルな仕事に携わりたいと思った	3.1%	2.8%
19. 家族の事情（親の介護など）に対応できる働き方が必要だった	7.9%	8.3%
20. 配偶者の転職や転勤などにより、自身も転職する必要が生じた	14.2%	12.0%
21. その他：	3.9%	1.9%

Q19 あなたが転職しようと思った1番の理由は何ですか。

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
やりたい業務・プロジェクトに携われる環境を求めた（前職では機会が限られていた）	13.4%	6.5%
自分の能力・スキルをより活かせる仕事を求めた	5.5%	11.1%
裁量を持って仕事を進められる環境を求めた	3.1%	5.6%
挑戦的な仕事に取り組める機会を求めた	3.1%	4.6%
成長の機会（学習・研修・新しい業務）が多い環境を求めた	4.7%	4.6%
成果や貢献がより適切に評価される環境を求めた	3.1%	1.9%
納得できる昇給・昇進の機会を求めた	4.7%	7.4%
処遇（年収・賞与）を改善したいと思った	10.2%	13.0%
労働時間や残業の負担を見直したいと思った	5.5%	4.6%
柔軟な働き方（在宅・フレックス等）が可能な環境を求めた	3.1%	0.0%
休日・休暇を取りやすい環境を求めた	5.5%	3.7%
自分に合うマネジメントのもとで働きたいと思った	0.8%	2.8%
自分に合う職場の雰囲気・人間関係を求めた	7.9%	2.8%
意思決定が速く、業務が効率的に進む環境を求めた	0.0%	0.0%
将来性のある企業で働きたいと思った	3.9%	1.9%
将来性のある業界で働きたいと思った	1.6%	0.9%
納得できる勤務地・通勤条件を求めた	3.1%	6.5%
グローバルな仕事に携わりたいと思った	0.8%	0.9%
家族の事情（親の介護など）に対応できる働き方が必要だった	3.9%	7.4%
配偶者の転職や転勤などにより、自身も転職する必要が生じた	11.8%	12.0%
その他：	3.9%	1.9%
計	100.0%	100.0%

Q20 転職活動の当初、どの都市圏で働こう、と考えていましたか。(MA)

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
1.名古屋圏（愛知県）	26.0%	53.7%
2.東京圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）	57.5%	35.2%
3.大阪圏（大阪府・京都府・兵庫県）	7.1%	13.0%
4.福岡県	0.8%	0.9%
5.上記以外の大都市圏（札幌市、仙台市、広島市等）	1.6%	1.9%
6.出身地、地元の都道府県	3.1%	6.5%
7.特にこだわりはなかった	21.3%	18.5%

Q21 あなたが転職した際、他の都市圏へ転出したのはなぜですか。(MA)

	n=127 名古屋圏→東京圏	n=108 東京圏→名古屋圏
1.希望する業種・職種の求人が、他の都市圏の方が明らかに多いと感じたから	35.4%	21.3%
2.中枢機能（本社、企画・開発、本店など）が他の都市圏に集中していると感じたから	11.0%	16.7%
3.キャリアアップ（昇進・難易度の高い仕事）につなげるポジションが他の都市圏に多いと感じたから	18.9%	16.7%
4.自分のスキル・専門性を活かせる仕事が多いと感じたから	8.7%	13.0%
5.他の都市圏の方が、年収水準の高い勤め先が見つかると感じたから	17.3%	8.3%
6.他の都市圏の方が、柔軟な働き方（在宅勤務・フレックスなど）を実現できる企業が多いと感じたから	6.3%	11.1%
7.他の都市圏の方が、人が集まり、刺激や情報を得られやすいと感じたから	13.4%	7.4%
8.他の都市圏の方が、自分の価値観に合うライフスタイル（文化・イベント・ライブ鑑賞など）を実現できると感じたから	11.8%	6.5%
9.他の都市圏の方が、望むキャリアを実現できる企業が多いと感じたから	8.7%	6.5%
10.パートナー・家族・友人がその都市圏に住んでいた又は住みたいと言っていたから	24.4%	23.1%
11.地元に戻りたかったから	12.6%	20.4%
12.その他：	3.1%	4.6%

Q22 転職前と転職後で、どのような変化がありましたか。

※複数回、居住地移動を伴う転職をしている場合は、直近の転職について回答してください。

名古屋圏→東京圏	n=127					計
	転職後の方が悪くなった			良くなった		
	1	2	3	4	5	
1. 仕事のやりがい	2.4%	9.4%	46.5%	20.5%	21.3%	100.0%
2. 仕事の裁量・責任の大きさ	4.7%	7.9%	39.4%	26.8%	21.3%	100.0%
3. 新たなスキルを身に付ける機会	4.7%	4.7%	41.7%	25.2%	23.6%	100.0%
4. 仕事における意思決定の速さ	3.9%	2.4%	53.5%	22.8%	17.3%	100.0%
5. 通勤時間	22.0%	15.0%	26.0%	13.4%	23.6%	100.0%
6. 年収額	12.6%	6.3%	31.5%	18.9%	30.7%	100.0%
7. 生活費等の支出額	18.1%	21.3%	37.8%	15.0%	7.9%	100.0%
8. 住居費	26.0%	20.5%	34.6%	10.2%	8.7%	100.0%
9. 友人等との人間関係の豊かさ	5.5%	9.4%	44.9%	18.1%	22.0%	100.0%
10. 居住する住宅の広さ	15.0%	13.4%	41.7%	11.8%	18.1%	100.0%
11. 生活のゆとり（趣味・余暇を楽しむ充実度）	7.1%	8.7%	38.6%	23.6%	22.0%	100.0%
12. 生活のしやすさ（買い物・通院など）	2.4%	10.2%	41.7%	24.4%	21.3%	100.0%
13. テレワーク・フレックス制度の適用などの柔軟な働き方	6.3%	5.5%	44.9%	17.3%	26.0%	100.0%
14. 住まいの立地の利便性（移動のしやすさ、職場へのアクセス性など）	7.9%	9.4%	40.9%	17.3%	24.4%	100.0%
15. 治安・安全性	7.9%	8.7%	55.9%	14.2%	13.4%	100.0%
16. 住環境の快適さ（騒音、緑、混雑感など）	7.9%	10.2%	51.2%	16.5%	14.2%	100.0%
17. 子育て環境（保育・教育環境など）	2.4%	8.7%	65.4%	11.8%	11.8%	100.0%

東京圏→名古屋圏	n=108					計
	転職後の方が悪くなった			良くなった		
	1	2	3	4	5	
1. 仕事のやりがい	6.5%	7.4%	46.3%	17.6%	22.2%	100.0%
2. 仕事の裁量・責任の大きさ	3.7%	12.0%	40.7%	25.9%	17.6%	100.0%
3. 新たなスキルを身に付ける機会	4.6%	8.3%	42.6%	25.9%	18.5%	100.0%
4. 仕事における意思決定の速さ	3.7%	7.4%	51.9%	19.4%	17.6%	100.0%
5. 通勤時間	11.1%	13.9%	34.3%	17.6%	23.1%	100.0%
6. 年収額	8.3%	6.5%	33.3%	25.0%	26.9%	100.0%
7. 生活費等の支出額	1.9%	12.0%	51.9%	25.0%	9.3%	100.0%
8. 住居費	9.3%	9.3%	38.9%	27.8%	14.8%	100.0%
9. 友人等との人間関係の豊かさ	6.5%	16.7%	49.1%	14.8%	13.0%	100.0%
10. 居住する住宅の広さ	1.9%	2.8%	30.6%	32.4%	32.4%	100.0%
11. 生活のゆとり（趣味・余暇を楽しむ充実度）	2.8%	3.7%	38.9%	30.6%	24.1%	100.0%
12. 生活のしやすさ（買い物・通院など）	5.6%	8.3%	38.9%	27.8%	19.4%	100.0%
13. テレワーク・フレックス制度の適用などの柔軟な働き方	4.6%	9.3%	50.0%	17.6%	18.5%	100.0%
14. 住まいの立地の利便性（移動のしやすさ、職場へのアクセス性など）	5.6%	10.2%	38.9%	25.9%	19.4%	100.0%
15. 治安・安全性	1.9%	5.6%	56.5%	23.1%	13.0%	100.0%
16. 住環境の快適さ（騒音、緑、混雑感など）	2.8%	7.4%	45.4%	26.9%	17.6%	100.0%
17. 子育て環境（保育・教育環境など）	1.9%	3.7%	64.8%	13.9%	15.7%	100.0%

Q23 次に転職するとした場合、この条件が整備されていたら、名古屋圏で転職するという内容はありますか。

名古屋圏→東京圏	n=127		計
	当てはまる	当てはまらない	
1. 年収が増加	56.7%	43.3%	100.0%
2. 本社・企画・研究開発等の中枢機能が名古屋圏に立地している	39.4%	60.6%	100.0%
3. 職住近接している	50.4%	49.6%	100.0%
4. テレワーク・フレックス等の柔軟な働き方がしやすい	51.2%	48.8%	100.0%
5. 希望する業種・職種の求人が名古屋圏に十分ある	53.5%	46.5%	100.0%
6. 希望する業種の産業が集積しており、人が集まりやすく、刺激や情報を得られやすい	48.8%	51.2%	100.0%
7. 若手でも裁量権が大きい仕事がある	44.1%	55.9%	100.0%
8. 自分の専門性・スキルを高められる研修・学習機会が充実している	53.5%	46.5%	100.0%
9. 成果ベースで昇給・昇格できる	49.6%	50.4%	100.0%
10. 職場の意思決定が速く、効率的な会議・打合せができる	45.7%	54.3%	100.0%
11. 同世代の人が多く働いている職場・エリアがある	50.4%	49.6%	100.0%
12. グローバルに活躍できる仕事がある	34.6%	65.4%	100.0%
13. 地元や家族・友人との距離を今より近くできる	53.5%	46.5%	100.0%
14. 余暇を楽しめる商業施設・飲食・イベント等の選択肢が多い	61.4%	38.6%	100.0%

Q24 今の仕事内容・年収・裁量と同じ条件の仕事が名古屋圏にあった場合、名古屋圏でその仕事を選んでいたと思いますか。

	n=127	
	名古屋圏→東京圏	
選んだと思う	44.9%	
それでも、現在の仕事を選んだと思う	53.5%	
その他：	1.6%	
計	100.0%	

Q25 転職前と転職後で、名古屋圏に対するイメージについて回答してください。

【転職前のイメージ】

n=127      思わない ←      → 思う

名古屋圏→東京圏	1	2	3	4	5	計
1. 仕事の選択肢（求人の数・種類）が多い地域だ	11.0%	9.4%	55.1%	15.0%	9.4%	100.0%
2. 高度な仕事・大きなプロジェクトのチャンスがある地域だ	13.4%	15.0%	50.4%	15.0%	6.3%	100.0%
3. 給与水準が良い地域だ	11.8%	15.7%	49.6%	16.5%	6.3%	100.0%
4. IT・スタートアップなどの新しい産業の動きが強い地域だ	14.2%	19.7%	52.0%	7.9%	6.3%	100.0%
5. これから伸びていくポテンシャルを感じやすい地域だ	10.2%	15.7%	48.0%	19.7%	6.3%	100.0%
6. 若手が活躍しやすい（権限やチャンスが回りやすい）地域だ	10.2%	16.5%	52.0%	13.4%	7.9%	100.0%
7. 通勤しやすい地域だ	11.0%	15.0%	38.6%	24.4%	11.0%	100.0%
8. 外から来た人にとっては入りやすい（つながり・新しい取引等を作りやすい）地域だ	15.0%	16.5%	50.4%	12.6%	5.5%	100.0%
9. 介護・医療・福祉が充実している地域だ	9.4%	9.4%	57.5%	18.1%	5.5%	100.0%
10. 子育てしやすい地域だ	8.7%	11.0%	55.1%	16.5%	8.7%	100.0%
11. 生活にゆとりがあり暮らしやすい地域だ	8.7%	10.2%	44.1%	26.8%	10.2%	100.0%
12. 休みの日の過ごし方（商業施設・イベントなど）の選択肢が多い地域だ	11.8%	16.5%	43.3%	19.7%	8.7%	100.0%
13. 山や海などの自然環境の中で行うレジャー施設が多い地域だ	11.0%	14.2%	44.9%	19.7%	10.2%	100.0%
14. 生活費（特に住居費）が安価な地域だ	8.7%	15.7%	45.7%	19.7%	10.2%	100.0%

【転職後のイメージ】

n=127      思わない ←      → 思う

名古屋圏→東京圏	1	2	3	4	5	計
1. 仕事の選択肢（求人の数・種類）が多い地域だ	8.7%	15.0%	44.1%	17.3%	15.0%	100.0%
2. 高度な仕事・大きなプロジェクトのチャンスがある地域だ	9.4%	13.4%	41.7%	24.4%	11.0%	100.0%
3. 給与水準が良い地域だ	10.2%	16.5%	43.3%	18.9%	11.0%	100.0%
4. IT・スタートアップなどの新しい産業の動きが強い地域だ	13.4%	16.5%	43.3%	16.5%	10.2%	100.0%
5. これから伸びていくポテンシャルを感じやすい地域だ	8.7%	15.0%	40.9%	22.8%	12.6%	100.0%
6. 若手が活躍しやすい（権限やチャンスが回りやすい）地域だ	13.4%	11.0%	43.3%	22.0%	10.2%	100.0%
7. 通勤しやすい地域だ	10.2%	15.0%	34.6%	25.2%	15.0%	100.0%
8. 外から来た人にとっては入りやすい（つながり・新しい取引等を作りやすい）地域だ	15.0%	15.7%	37.0%	18.1%	14.2%	100.0%
9. 介護・医療・福祉が充実している地域だ	10.2%	4.7%	56.7%	18.9%	9.4%	100.0%
10. 子育てしやすい地域だ	7.9%	11.8%	52.8%	17.3%	10.2%	100.0%
11. 生活にゆとりがあり暮らしやすい地域だ	7.1%	14.2%	46.5%	24.4%	7.9%	100.0%
12. 休みの日の過ごし方（商業施設・イベントなど）の選択肢が多い地域だ	10.2%	14.2%	33.1%	25.2%	17.3%	100.0%
13. 山や海などの自然環境の中で行うレジャー施設が多い地域だ	13.4%	15.0%	36.2%	25.2%	10.2%	100.0%
14. 生活費（特に住居費）が安価な地域だ	13.4%	15.7%	37.0%	22.8%	11.0%	100.0%

【転職前のイメージ】

	n=108					計
	1	2	3	4	5	
東京圏→名古屋圏						
1. 仕事の選択肢（求人の数・種類）が多い地域だ	2.8%	9.3%	42.6%	27.8%	17.6%	100.0%
2. 高度な仕事・大きなプロジェクトのチャンスがある地域だ	4.6%	7.4%	50.9%	22.2%	14.8%	100.0%
3. 給与水準が良い地域だ	1.9%	7.4%	50.0%	22.2%	18.5%	100.0%
4. IT・スタートアップなどの新しい産業の動きが強い地域だ	2.8%	16.7%	52.8%	16.7%	11.1%	100.0%
5. これから伸びていくポテンシャルが感じやすい地域だ	6.5%	8.3%	55.6%	21.3%	8.3%	100.0%
6. 若手が活躍しやすい（権限やチャンスが回りやすい）地域だ	1.9%	11.1%	53.7%	22.2%	11.1%	100.0%
7. 通勤しやすい地域だ	7.4%	6.5%	50.0%	25.0%	11.1%	100.0%
8. 外から来た人にとっては入りやすい（つながり・新しい取引等を作りやすい）地域だ	6.5%	8.3%	59.3%	18.5%	7.4%	100.0%
9. 介護・医療・福祉が充実している地域だ	0.0%	11.1%	59.3%	17.6%	12.0%	100.0%
10. 子育てしやすい地域だ	5.6%	8.3%	57.4%	17.6%	11.1%	100.0%
11. 生活にゆとりがあり暮らしやすい地域だ	2.8%	8.3%	56.5%	25.0%	7.4%	100.0%
12. 休みの日の過ごし方（商業施設・イベントなど）の選択肢が多い地域だ	2.8%	7.4%	50.0%	19.4%	20.4%	100.0%
13. 山や海などの自然環境の中で行うレジャー施設が多い地域だ	11.1%	20.4%	45.4%	12.0%	11.1%	100.0%
14. 生活費（特に住居費）が安価な地域だ	15.7%	16.7%	49.1%	16.7%	1.9%	100.0%

【転職後のイメージ】

	n=108					計
	1	2	3	4	5	
東京圏→名古屋圏						
1. 仕事の選択肢（求人の数・種類）が多い地域だ	8.3%	15.7%	39.8%	23.1%	13.0%	100.0%
2. 高度な仕事・大きなプロジェクトのチャンスがある地域だ	4.6%	12.0%	44.4%	20.4%	18.5%	100.0%
3. 給与水準が良い地域だ	3.7%	15.7%	39.8%	25.0%	15.7%	100.0%
4. IT・スタートアップなどの新しい産業の動きが強い地域だ	6.5%	19.4%	42.6%	21.3%	10.2%	100.0%
5. これから伸びていくポテンシャルが感じやすい地域だ	3.7%	13.9%	46.3%	25.9%	10.2%	100.0%
6. 若手が活躍しやすい（権限やチャンスが回りやすい）地域だ	5.6%	22.2%	47.2%	14.8%	10.2%	100.0%
7. 通勤しやすい地域だ	6.5%	5.6%	41.7%	24.1%	22.2%	100.0%
8. 外から来た人にとっては入りやすい（つながり・新しい取引等を作りやすい）地域だ	5.6%	12.0%	51.9%	19.4%	11.1%	100.0%
9. 介護・医療・福祉が充実している地域だ	1.9%	7.4%	48.1%	23.1%	19.4%	100.0%
10. 子育てしやすい地域だ	4.6%	4.6%	48.1%	26.9%	15.7%	100.0%
11. 生活にゆとりがあり暮らしやすい地域だ	0.9%	7.4%	45.4%	30.6%	15.7%	100.0%
12. 休みの日の過ごし方（商業施設・イベントなど）の選択肢が多い地域だ	11.1%	12.0%	38.0%	25.0%	13.9%	100.0%
13. 山や海などの自然環境の中で行うレジャー施設が多い地域だ	7.4%	15.7%	41.7%	18.5%	16.7%	100.0%
14. 生活費（特に住居費）が安価な地域だ	5.6%	14.8%	49.1%	17.6%	13.0%	100.0%

